

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊予市	下灘地区 奥東集落	令和3年3月29日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	17.2ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	17.2ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	3.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

鳥獣被害対策を行いながら集落内の農地を可能な限り維持していく。それでもなお、耕作条件が悪く、後継者の見つからない農地に関しては計画的に林地化を進めていく。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

奥東集落の農地利用は、条件の良い優良農地については認定農業者や認定新規就農者が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	果樹	65 a	果樹	65 a	
認農	B	果樹	7 a	果樹	7 a	
認農	C	果樹	139 a	果樹	139 a	
認農	D	水稻・野菜	206 a	水稻・野菜	206 a	
認就	E	果樹	21 a	果樹	21 a	
	F	水稻・野菜	109 a	水稻・野菜	109 a	
	G	果樹	136 a	果樹	136 a	
計	7人		683 ha		683 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

中山間直接支払交付金を活用し土づくりとしての堆肥を毎年度実施する。

耕作条件の悪い、耕作継続が困難な農地は、荒廃化が進行する前に計画的に林地化していく。

農地の貸付け等の意向

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m ²)		
	貸付け	作業委託	売渡
1なし			
計			